

はじめに

少子高齢・人口減少社会の本格的な到来や地方自治体の財政悪化など、わが国の都市を取り巻く社会状況が大きく変化する中、市街地における道路整備のあり方も、従来一般的だった現道拡幅を伴う都市計画道路の整備から、幅員再構成や施設更新による道路空間再編の取り組みへとシフトしつつある。

平成 29 年 8 月の社会資本整備審議会道路分科会建議「道路・交通イノベーション」でも、道路空間の利活用の更なる高度化、多様なニーズに対応した道路空間の再構築、民間団体等との連携による価値・魅力の向上など、道路空間再編の推進が道路行政の重要課題として掲げられている。

既成市街地の道路空間について、幅員再構成や施設更新、面的再構築、多目的利用等を通じて、公共空間としての多様な機能をバランス良く発揮させることで、安全かつ円滑な交通環境の創出に加え、まちの活性化やソーシャルキャピタルの醸成等、豊かな地域の実現の一助となることが求められている。

道路空間再編・利用については、2000 年前後より地方自治体において先進的な取り組みが始まり、その後、全国各地へと取り組みが広がっていった。参照できる先行事例が少ない中、道路行政・まちづくり行政の現場では、事業化やデザイン・マネジメント上の様々なアイデアが生まれてきた。

そこで、国土技術政策総合研究所・緑化生態研究室では、平成 26・27 年度にかけて、わが国における道路空間再編・利用の取り組み 100 件を対象に、各事例の基本情報や実施上のポイントとなる事項を調査するとともに、道路空間再編・利用の類型整理を行った。

本書は、全国の道路行政・まちづくり行政の現場で生み出された、道路空間再編・利用に係るアイデアやノウハウを共有し、これから道路空間再編・利用に取り組む行政職員や技術者が参照する基礎資料となるよう、国内 100 事例に関する情報を事例集形式でとりまとめたものである。

行政職員や技術者の皆さまには、本書を積極的に活用しながら、地域のニーズを踏まえた道路空間の創出を通じた地域課題の解決や地域力の再生を実現して頂くことを期待したい。

なお、事例調査にあたり、地方整備局や国道事務所、地方自治体、まちづくり組織の皆さまには、多大なる協力を頂くとともに、本書のとりまとめにあたっては、次頁に示す学識経験者・実務者の先生方からなる研究会を設置し、アドバイスを頂いたことをここに記し、厚くお礼申し上げたい。

平成 30 年 3 月

国土交通省 国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室

平成 27 年度 道路空間再編・利用研究会

<委員> (五十音順、所属等は当時)

伊藤 香織	東京理科大学 理工学部 准教授
川原 晋	首都大学東京 都市環境学部 准教授
崎谷 浩一郎	(有) E A U 代表取締役
野原 卓	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 准教授
羽藤 英二	東京大学大学院 工学系研究科 教授
福井 恒明	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 教授